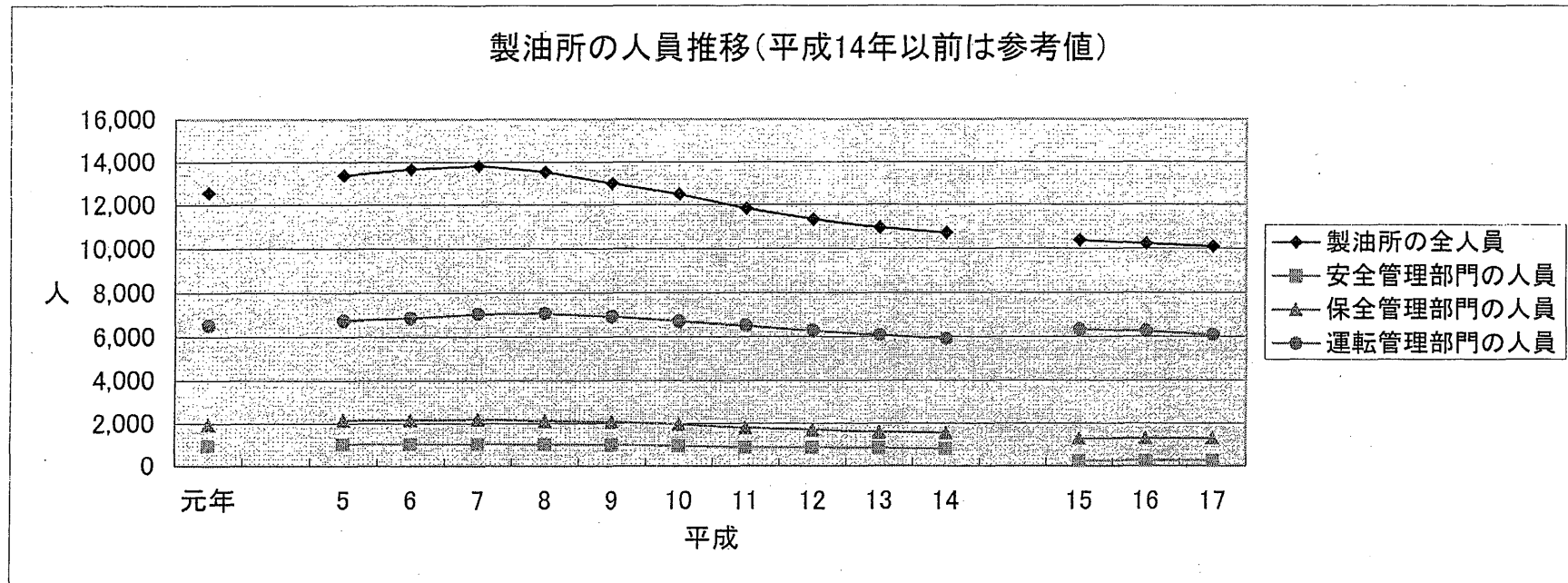


製油所の人員推移（平成14年以前は参考値）

	元年	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	★	15	16	17	ピーク対比(参考)
製油所の全人員	12,553	13,368	13,654	13,811	13,529	12,986	12,484	11,824	11,323	10,951	10,714	★	10,378	10,214	10,090	73.1%
安全管理部門の人員	955	1,046	1,038	1,041	1,023	1,015	958	883	884	862	819	★	256	266	261	25.0%
保安全管理部門の人員	1,950	2,156	2,162	2,202	2,120	2,085	1,975	1,803	1,706	1,607	1,561	★	1,298	1,311	1,313	59.6%
運転管理部門の人員	6,515	6,745	6,842	7,026	7,057	6,912	6,708	6,501	6,286	6,089	5,919	★	6,329	6,266	6,081	86.2%
3部門合計	9,420	9,947	10,042	10,269	10,200	10,012	9,641	9,187	8,876	8,558	8,299	★	7,883	7,843	7,655	74.5%
その他の人員	3,133	3,421	3,612	3,542	3,329	2,974	2,843	2,637	2,447	2,393	2,415	★	2,495	2,371	2,435	67.4%

★注）平成元年から14年は、データの揃っている26製油所の集計だが、消防警備や工事関係業務の子会社化などにより、統一性が損なわれ統計資料としての整合性が不適切となったため、平成15年のデータからは継続性のある下記のように変更した。

- *製油所の全人員：平成18年現在稼動している石油連盟加盟会社の全29製油所における社員数（労働基準監督署へ提出の労働災害動向調査ベース）
- *安全管理部門の人員：消防警備担当業務を除くスタッフの人員（消防警備担当はその他の人員へ）
- *保安全管理部門の人員：エンジニアリング子会社を含まない人員
- *運転管理部門の人員：オペレーターおよびスタッフの人員



（石油連盟作成）

ボイラー及び第一種圧力容器の事故災害

発生年	設備	業種	事故の内容	死傷者数	原因
17	第一種圧力容器	その他の化学製品製造業	爆発	3	作業手順誤り
	ボイラー	旅館その他の宿泊所の事業	本体溶融	0	作業手順誤り 定期自主検査未実施 日常点検未実施
16	第一種圧力容器	電気機械器具製造業	破裂	0	定期自主検査未実施
	第一種圧力容器	有機化学工業製品製造業	破裂	0	製造時検査等未受検 定期自主検査未実施
	ボイラー	建設業	爆発	3	連絡体制不備
	ボイラー	有機化学工業製品製造業	本体溶融	0	定期自主検査未実施
	ボイラー	ガスの製造供給の事業	爆発	0	作業手順誤り
15	第一種圧力容器	ゴム製品製造業	破裂	1	作業手順誤り
	ボイラー	鉄鋼業	爆発	0	作業手順誤り
	ボイラー	有機化学工業製品製造業	爆発	0	作業手順誤り 日常点検未実施
	ボイラー	繊維工業	爆発	0	作業手順誤り 日常点検未実施
	ボイラー	パルプ・紙製造業	爆発	0	日常点検未実施
	ボイラー	食料品製造業	爆発	0	作業手順誤り
14	第一種圧力容器	ゴム製品製造業	破裂	3	作業手順誤り
	ボイラー	医薬品製造業	爆発	3	作業手順誤り 日常点検未実施
	ボイラー	パルプ・紙製造業	爆発	0	作業手順誤り

(労働基準監督署の調査結果から作成)